# **EUROPEAN PATENT OFFICE**

# Patent Abstracts of Japan

**PUBLICATION NUMBER** 

56099835

**PUBLICATION DATE** 

11-08-81

**APPLICATION DATE** 

08-01-80

APPLICATION NUMBER

55000287

APPLICANT: UMAGOE MICHIMOTO;

INVENTOR:

**UMAGOE MICHIMOTO**;

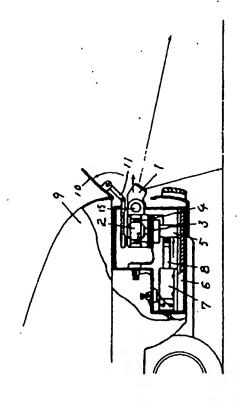
INT.CL.

B60R 1/08 H04N 7/18 // G08G 1/16

TITLE

**VISUAL BACK-CONFIRMING DEVICE** 

BY TELEVISION CAMERA FOR CAR



ABSTRACT: PURPOSE: To enable the driver to visually confirm safety right behind the car and neighborhood thereof by himself, by equipping a television camera to the rear part of the car body.

> CONSTITUTION: A motor 2 is fitted to the side of the rear part of the television camera 1, and a gear 3, which is engaged with a gear 4 fixed to the camera body, is provided to the rotary shaft of the motor 2. The lower end of the camera supporting shaft 5 is fitted to the guide rail 6 to be able to slide backward and forward, while with the supporting shaft 5, the rod 8 pushed in and out to back and forth by the solenoid 7 is connected. The camera body and a lid 10 which is a part of the trunk cover 9 are connected by the lever 11, which releases the lid 10 when the television camera is projected. The operation is done by the switch 4 provided to the driver's seat, and the driver can confirm the situation of the back through the picture on the cathode-ray tube equipped in the driver's seat.

COPYRIGHT: (C)1981, JPO& Japio

### ⑭ 日本国特許庁 (JP)

**砂特許出願公開** 

## 砂公開特許公報(A)

昭56-99835

⑤Int. Cl.<sup>3</sup>
B 60 R 1/08
H 04 N 7/18
# G 08 G 1/16

**識別記号** 

庁内整理番号 7191—3D 7735—5C 6615—5H 砂公開 昭和56年(1981)8月11日

発明の数 2 審査請求 未請求

(全 3 頁)

⊗テレビカメラによる自動車後部目視確認装置

東京都目黒区自由ケ丘1―19―2

4

②特 頤 昭55-287

②出 顧 昭55(1980)1月8日

@発 明 者 馬越順二

東京都渋谷区富ケ谷1-33-6

-402

**@**発 明 者 馬越通元

⑩出願一人馬越順二

東京都渋谷区富ケ谷1-33-6

-402

创出 顯 人 馬越通元

東京都目黒区自由ケ丘1-19-2

4

明 40 #

人名明の名称

テレビカノラによる自動車検部目視確認装置 2.投流機果の範囲

- (I) 自動車等のパック時代おける後 昭確認 装履に おいて 単体後部のトランクの一部又は 適所を 利用しテレビカノラを表設し、飲カノラにて キャッチ した後万状態を運転席の目前 に役け た計画総のインストの一部に 報込み 又は適所 に設けたプラウン質を通じて確認するように したことを特別とするテレビカノラによる自 動車後部目視確認整 環。
- (2) 自動水板部のトランクの一部を利用しテレビカノラ不使用の際はトランク内に収納し必要の感性のなったオンによりソレノイド等の電気鉄度によってカバーを開口してテレビカノラを自動的に外方へ変揚すると同時に致カノラを必要角度回動せしめて、 単体後方直下及びその調辺の状態を選続 席のごう

たのちパックするようにしたことを特成とする特許請求の範囲第 1 項記載のテレビカノラ 利用による自動車後部目視磁認装置。

### 3.発明の詳細な説明

本名明は自動車のパック時において自動車を方の状態を目視による確認装置の開発に関するもので、その目的とする所はテレビカノラによって運転席に設けたプラクン智を通じ自動車を方の真下及び後方周辺を確認しつつ又は確認の上パックし、従来多発している対人、対物等の実界を未然に防止せんとするものである。

即ち辺面はテレビカノラを利用したパック時にかける自動車後方状態の確認装成の一例を示したもので、テレビカノラ(1)の後部側面にモーター(2)を取付け、該モーターの回転軸に出出のを設け、この由車(3)をカメラ体に固層したの出るとしい、カノラ支持軸(5)の下端はガイドレール(6)上に前後にスライドするように取付け、又支持軸(5)にはソレノイド(7)によって前後に出入りするロッド(6)を連絡としい、且つ又カ

持願昭56- 99835 (2).

メラルとトランクカバー側の一部である開閉番のとはレバーのによって連結し、ナレビカックが実出する時間を開放して行なりように関係した。これがは続けたスイッチのは対したのかがある。カメラとでは大力が変を破ってからにしたものである。勿論スイッチオランとようにしたものである。勿論スイッチオランとようにした場合はソレノイドによって加はもと通り閉じる。

本電明はも思め如くテレビカノラによって単 仏成りの両下及びその周辺を目視によって連続 有自身が確認するようにしたものであるが、現 在はそは時によってバックを知らせる方法があ るが、この方法では後方の人が気付かめことも あり状だ危険である。又バックミラーに依存し でも後方両下の目視は不可能で、これも完全な ものといえず、場合によっては後方を確認する

1 図は本鉄銀を装備した自動車の側面図、第2 図は製部を拡大した側面図、第3図は同上の平価図、第4図は運転席に設けた計器数を配設のインスト部の正面図である。

前辺面にかいて(1)…テレビカノラ

- (2) … 尚上の回動用モーター
- (3) ーモーター軸に設けた歯車
- (4) ·· カノラ回動用の歯車でモーター 動に投げた歯車と係合する
- (5)…カノラの支持軸
- (6) 上記支持軸を前後化スライドす ムレールガイド
- (7) -- ソレノイド
- (8) …ソレノイドのロッド
- (9) … トランクカバー
- 99 -- 開閉素
- 149…同じの開閉レバー
- 03 … インスト
- (は … テレビカメラの操作スイッチ
- 04 … プラウン型

人が現転者に知らせ始めてパックする.という手段をとっているのが異状である。

これに対し本鉄躍け叙上のように選択者が乗車のます。しかも後方を本人の目によって流形 選びしつつバックするため後めて完璧でメムーズに行なわれ、その効果は知る大であり、この 待の事故防止に大きな役割を果すものと 磁 付る と 共に、バック時に 安全性 を 運転者 に 与える 自動単徙 方及び直下 暖 総新装 麗 の 決定 版 で ある

### 4.図面の簡単な説明

図面は本発明の実施の一例を示したもので祭

09. カメラ上ド可動調整つまみ

特許出版人 馬 越 、 順 二

-- 188 --

持備昭56- 99835(3)

